

## NANIWA53号

「特に今回も会議室は用意していない」

### 不愉快な対応は指示どおり動くロボットだ

3/15 前回の要請の回答を聞きに、大阪で働く仲間 25 名とともに、OBP ビルへいきました。対応はまた、小森氏 1 名でした。そのやり取りです。

小森氏「今回も特に会議室は用意していない。前回の要請文は本店へ伝えました」

組合「回答は？」

「コメントはもらえませんでした」

「本店の誰に？」

「人企の露口、大塚のラインに言った」

「大勢でなく、数名を会議室に通して聞くだけでないか。なぜ、このような対応なのか？」

「責任者は私なので私の判断で決めた」

「それでは責任者として判断せよ。できないなら、判断できる人間を出すよう求める。これではロボットじゃないか？」

「私は 2 府 4 県の担当で私の意志です」

「あらかじめ来ることも電話している」

「わざわざこうして時間をつくり対応している。次回も同じ対応になります」

「会議室が空いているか、いつもわからないなら自席は何階なのだ？そちらに行く」

「26F ですが、ここで結構だと思う」

「今きたら、あいているかどうかわからないと言うからいつもあらかじめ会議室を用意していただくようにも言っている。本当に責任者といえるのか」

「まかせられている」

「責任を果たせ。ある時は責任者と言い、ある時は本店でと言い、いったい何なのだ？」

**もし、東海労組が使用すると言ってきたら不愉快な対応するというのか？**

**実際、前回要請に来たとき、労組は 2F 会議室で会合をしていたではない**

**か。会議室管理簿をみるとわかることだ、**

「...」

「あえて私たちの組合に貸さないというこの態度であれば、組合差別しているということだ」

「すべて本店でしていますので」

「ここで、あえて言う、次回も貸さないなら、京阪神の支店に次回要請に行く。各支店でしっかりと対応していただけるよう言うておく」。

やりとりとしては、こんな感じです。

次回は 支店です、今度はこちらが用意しておきます。何時間でも対応します。

*ただいま各支店要請ビデオがコンパクトに DVD 化しました。どんな言動、態度も表情も決してうそはありません。いつでも差し上げます。テロップ解説で一層わかりやすくなりました。今後に絶対役立ちます。シリーズ、福井・静岡・岡山・倉敷・大阪・徳島 次回京阪神版作成予定。*

ひとはみんなのために みんなはひとりのために  
全損保日勤外勤支部大阪分会